

環境だより



環境課 ☎66・1122

ポリ塩化ビフェニル（PCB）は、電気絶縁性が高い、熱で分解しにくい、燃えないなど化学的に安定した物質であることから、かつては多くの工業製品で使われていました。しかし、昭和43年の「カネミ油症事件」をきっかけに、その毒性が注目され、肝機能障害、発がん性など人体に対する影響も指摘され、昭和47年に製造が禁止されました。

PCBの処理を開始します

処理施設で日本環境安全事業株式会社（国が全額出資）が処理を行うことになりました。

今回のPCB廃棄物処理開始に伴い、処理の早期登録引（平成18年3月末日までに登録した場合は処理料金5%引）および中小企業者への支援（処理料金の70%軽減）が用意されていますので、PCB廃棄物の計画的な処理の推進にご協力ください。

なお、PCB特別措置法によつて、平成28年7月までに処理しなければならいことが定められています。

処理対象物

トランス、コンデンサなどの電気機器（10kg以上）、PCBを含む油



問合せ窓口

- ・ 日本環境安全事業(株)
☎0120・80・8534
- ・ 愛知県環境部廃棄物対策課
☎052・954・6235

消防最前線

Journal of Fire Department 119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syobo/>

消防士の勤務時間は、朝8時半から翌朝8時半までの24時間です。勤務交代の時間、夜勤から解放された消防士たち。顔も晴れやかに、さあ、どこに行こうか・・・とはいかないのが消防士の運命。夜勤明けでも、翌朝8時半の勤務開始までは「非番日」といって、身も心もすべて自由とはいきません。事故や災害などで非常呼出が掛かればすぐに署に駆けつけられる場所にいななければならぬのです。いくら体力の有り余った新人消防士でも、いつ呼び出しが掛かるかわからない状況と翌日の仕事のことを考えると、思いっきり羽目を外して遊び回るなんてことはご法度

勤務明けでも・・・

です。

そこで、地水利調査を兼ねながら市内にとどまる人もいれば、消防署内のトレーニング室で体力錬成に励み、昼近くまで職場にいて、「お前の家はここか」と言われるような人もいます。深夜の出動でぐったりしている消防士は、早々と家に帰って布団にもぐり込んで死んだように眠り、また家まで帰る気力がないうきは近くの喫茶店に寄り、眠気覚ましモーニングコーヒートと洒落込み（？）ます。

それでは、勤務中でも勤務が明けても常に気を張っているのかというと、さすがに消防士でもそれでは身が持ちません。現在は、3勤務を終えるところと1勤務分の休日があるという勤務体制になつていきます。その休日には、皆思い思いの余暇を楽しみます。火災、救急、救助活動に全神経を注ぐためには、休日を充実させて、気力を養うことも消防士の大切な使命なのかもしれません。